

## 大阪学生選手権大会（団体の部）施行細則

### 1. 出場資格

- (1) 出場選手は本連盟加盟校及び本連盟登録者で、本大会出場者として選手登録されたものに限る。但し、大会初日の受付時に追加登録・変更された者はこの限りではない。
- (2) 選手登録者数は男女 10 名までとする。部員が 5 名に満たない場合、事前に必ず申し出ること。選手登録数または当日参加選手数が 5 名に満たない場合、同リーグ校の承認を得た場合のみオープン試合としてエントリーを認める場合がある。ただし、勝敗に限らずポイントは 0-3 とする。
- (3) 試合決定後の対戦のメンバー変更は相手校の了解を得ることを条件に認める（登録選手に限る）。その際は対戦前に本部に届け出ること。また、その試合の勝敗を有効ポイントとする。

### 2. 競技規則

現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則ならびに大会運営規程、公認審判員規程及び関西学生リーグ戦施行細則に基づいて行う。

### 3. 競技方法

- (1) 部制は男女各部 4 校とする。ただし下部については、可能な限り 3～4 校で行えるようエントリー数により若干変動する場合がある。
- (2) 新規加盟校は最下部・最下位とする。
- (3) 試合形式は男女ともに 2 複 1 単とし、第 1 複、第 2 複、第 1 単の順に行う。但し、オーダー交換時において、オーダー用紙に記載された人数に欠員が生じた場合、その対戦校との試合は失格とする。失格の場合は、「1. 出場資格の (2)」の扱いに準ずる。
- (4) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが 11 点になったとき、60 秒を超えないインターバルを認める。また、第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認める。
- (5) インプレー中のサイドコーチはいっさい認めない。
- (6) インターバル時のコーチ（学生を含む）は 2 名を上限とする。
- (7) 時間の都合上、試合を 2 つ以上のコートで並行して行うこともある。
- (8) コートマナーについて次の通りとする。
  - ・ 出場選手は、学生らしくフェアプレーに徹し、品位ある態度で競技すること。
  - ・ 競技中に着用するウェアは（公財）日本バドミントン協会審査合格品のみとする。
  - ・ 競技中は学校別背面表示を必ず付けること。ダブルスの場合は両者とも付けること。
- (9) 応援マナーについて。
  - ・ 試合中は選手以外はコートに近づかないこと。
  - ・ コートサイドのチームエリアに入れる者は各大学部長、監督、コーチ、主将、主務及びレギュラー登録メンバーのみとする。ただし、会場施設の関係上、フロアでの応援を許可する場合があるが、その際は本部よりアナウンスを行う。
  - ・ 応援はスポーツマンシップに則り、品位ある応援をすること。選手や審判に悪影響を与えるような応援や発言は禁止する。

### 4. オーダー

- (1) オーダーは、所定のオーダー用紙に申し込み責任者が自筆捺印し、本部に提出する

- こと。
- (2) オーダー用紙の提出時間を厳守すること。遅れた場合は棄権とみなすことがある。
  - (3) 一度提出されたオーダーは変更できない。但し、試合決定後のメンバー変更はこの限りではない。

5. 審判

- (1) 主審は当事校以外の第三者で行う。
- (2) 主審は3級公認審判で行うことを原則とする。3級公認審判がない場合は、それと同等の知識を有する者が行う。
- (3) 事故などの場合は、主審及び大会委員長が協議の上、試合の継続又は棄権の判定を行う。

6. 成績順位の決定

- (1) リーグ戦の最多勝校を最上位(優勝)、最多敗校を最下位とする。
- (2) 同位校が2校以上の場合は、リーグ内すべての試合のマッチ数、マッチ数が同数の場合は得失ゲーム差で決定する。また得失ゲーム差も同数の場合は得失ポイント差により決定する。

7. 昇降部

- (1) 各部の最下位校とその部の1ランク下の部の最多勝校で入替戦を行う。
- (2) 不出場校は入替戦を行わず無条件で降部とし、下部の最多勝校と入れ替わる。

8. その他

- (1) 順位決定に関係しない試合はっさい認めない。